

敷料は足りていますか？

～敷料の役割について考えてみましょう～

麦稈を沢山使ってキレイに



カウトレーナーも上手にを使って清潔を保っています。

育成牛にもたっぷりのおが粉



ペンの中央に山盛りに入れて。寝起きが快適で、冷えません。

カーフハッチに麦稈



下にすのこを入れて透水性を上げて、冷え知らず。

乳房を汚さない



少なくとも乳房の下にはタツプリと（牛床マット使用）。

根室管内では一般的に、①乾牧草②ワラ類（麦稈）③おが粉④もみ殻が使われていますが、敷料が不足している農場が散見されます。特に、育成牛や乾乳牛に不足の傾向があるようです。

敷料の役割

牛床に求められる条件は、①クッション性が高く、②滑らず、③乾いていて衛生的で、④牛体を傷つけないことです。そして、この条件の不足を補ってくれるのが敷料です。敷料の具体的な役割を下の表に示しました。

敷料の役割

乳房炎防除・蹄病予防

- ◇ ふん尿を牛床から除きやすくし、牛体、乳房、乳頭を汚さない
- ◇ ふん尿の湿気を吸い取り、牛床を乾燥させる

エネルギー損失防止

- ◇ 断熱効果で冷えから守る

けがをさせない・採食量を減らさない

- ◇ 滑ることによる乳房損傷・肢蹄の打撲傷を防ぐ
- ◇ 固い牛床で寝起きすることによる、関節等への過重を軽減する
- ◇ 摩擦の強過ぎる牛床素材によるすり傷を防ぐ

余剰の乾牧草を敷料にしてみても？

麦稈は敷料に適した素材ですが、価格や流通面で入手しづらいことがあります。もし牧草の量に余裕があるなら、植生が悪化した草地の牧草を、敷料用として活用してはどうでしょうか。

育成牛・乾乳牛にも十分な敷料を！

敷料が不足しがちな育成牛や乾乳牛に、寝起きがしやすくして温かい牛床を提供することで、特に寒冷環境において、健康増進や生産性向上が期待できます。

麦稈・乾牧草が使えない場合はおが粉を

設備上、牧草類やワラ類が使えない場合は、おが粉やもみ殻がいいでしょう。いずれの敷料を選択しても、クッション性確保のため、タツプリ投入することが重要です。牛床素材をマットにすると、さらに効果を高めます。



写真の牛床には麦稈がたくさん投入されています。牛床素材はコンクリートですが、敷料をたくさん使うことでクッション性が高まり、寝起きが楽になります。飛節は傷ついていません。